

東京都庭園美術館

事業名	会期	概要
「北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美」	2020年2月1日 ～4月7日 20時まで夜間特別開館： 3月27日、28日、 4月3日、4日	アール・ヌーヴォーからアール・デコにいたるフランス装飾美術の展開の中で、常に中心的存在として活躍したルネ・ラリック。本展では北澤美術館コレクションから、ラリックのガラス作品の変遷を紹介し、あわせて旧朝香宮邸（本館）を使って、室内装飾としてのラリック作品の意味を検証します。
「建築をみる2020 ライフ 東京モダン生活」	2020年4月18日 ～6月23日	年に一度の「建物公開」として、本館では旧朝香宮邸（重要文化財）の建物自体の魅力を、家具・調度等の展示を通して紹介します。新館ギャラリーでは、旧朝香宮邸の竣工した1930年代の東京に焦点を当て、都立の美術館・博物館が所蔵する絵画や彫刻、写真等を用いて、戦前期の「モダン都市東京」の姿を多角的に紹介します。
「Nature Human」	2020年7月11日 ～9月27日	緑豊かな庭園のなかに佇む旧朝香宮邸（東京都庭園美術館本館）は、アール・デコ様式を現代に伝えるものとして重要文化財に指定されています。その内装をよく見ると、森からはじまり楽園へと至る風景が描かれています。この風景は窓の外に広がる庭園へつながっており、人々はこの建物が周囲の自然と一体化していることに気づきます。本展では、この自然と建物とが調和した空間のなかで、「アール・デコの館」から現代作家の作品を通し、自然とアートの交点を探ります。
「奇想のモード」	2020年10月17日 ～2021年1月12日 20時まで夜間特別開館： 11月20日、21日、27日、28日、 12月4日、5日	20世紀最大の芸術運動であったシュルレアリスムは、表現の枠を超えて、時代のあらゆる表層や意識の深淵にまで影響を及ぼしました。時代を先駆けようとする優れたクリエイターたちの感性は、時にシュルレアリストたちの理念とも重なり合い、モードにまつわるイマージュから多くのインスピレーションを享受しています。本展は、モードに反映された「奇想」をテーマに、過去の歴史から現代に至る創造者たちの革命的精神に迫ろうとするものです。
「グラフィックデザインが 見た夢」	2021年1月30日 ～4月11日 20時まで夜間特別開館： 3月26日、27日	公共空間に掲出されるポスターは、時代の「夢」を表現してきました。それらは単に消費を促すだけでなく、理念の啓蒙やプロパガンダにも盛んに使用されてきました。本展では、3,200点におよぶ竹尾ポスターコレクションの中から約100点を厳選し、20世紀のグラフィック・デザイナーたちが、ポスターを通じて様々なメッセージをいかに表現しようとしてきたかを振り返り、21世紀における表現の可能性を考察します。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都庭園美術館広報担当までお問い合わせください。

※本枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都庭園美術館

〒108-0071 港区白金台5-21-9

電話 03-3443-0201 FAX 03-3443-3228

<https://www.teien-art-museum.ne.jp/>

※ 開館時間：10時～18時（7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長）

※ 休館日：第2・第4水曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始

東京都江戸東京博物館(1)

事業名	会期	概要
特別展 「江戸ものづくり列伝 —ニッポンの美は職人の 技と心に宿る—」	2020年2月8日 ～4月5日	明治前期に日本を訪れたヨーロッパ貴族バルディ伯爵の日本コレクション（ベニス東洋美術館所蔵）の 日本での初公開 をはじめ、当館のコレクションを中心に、江戸東京で活躍した職人たちの仕事と人生に光を当て、日本が世界に誇る「ものづくり」を紹介します。特に 5人の名工 —江戸を代表する二人の蒔絵師・ 原羊遊齋 と 柴田是真 、葛飾北斎の弟子で絵師から金工の道に転じた 府川一則 、尾形乾山の陶芸を継承し軍艦の建造をも手がけた鬼才の陶工・ 三浦乾也 、江戸の職人気質を受け継ぎ超細密工芸を究めた 小林磯齋 の作品で構成します。
企画展 「市民からのおくりもの 2019—平成30年度 新収蔵品から—」	2020年3月10日 ～5月10日	当館は、江戸東京の歴史と文化に関する資料を収集し、次の世代へ伝えるために保存及び管理を行っています。また、収集した資料を調査し、資料が持つ様々な情報を展示等を通して公開しています。本展は、当館が 新規に収集したバラエティー豊かな資料 をご覧いただくと共に、寄贈者に謝意を表し、博物館活動への理解を深めてもらうことを目的としています。
特別展 「奇才—江戸絵画の冒険 者たち—」	2020年4月25日 ～6月21日	江戸絵画史では、従来の通史の枠に収まらない 自由で斬新な発想 に富んだ画家たちの作品が見直されています。また、通史に位置づけられる人たちの中においても、既成の枠を打ち破った画家たちに注目が集まっています。本展ではこうした 斬新な表現 に挑んだ画家たち、 諸国を代表する“奇才”の画家たち の作品を一堂に会します。特に三都および諸国から江戸時代の個性的な絵師の作品を結集し、必ずしも本流（狩野派）とは言い難い 地域の絵師 を多く取り上げ、従来の 江戸絵画史の概念を見直します 。
企画展 「発掘された日本列島 2020」	2020年6月6日 ～8月10日	文化庁と共催する巡回展のスタートを切る展覧会です。2020年度は、全国の発掘調査の成果を速報する「新発見考古速報展」に、「日本の自然が育んだ多様な地域文化」、「記念物100年」の2テーマを加え、 埋蔵文化財を通じた日本の歴史・文化の魅力発信とその保護の重要性 に関する理解を深める目的で開催します。あわせて、東京における成果を紹介する地域展も開催します。
特別展 「大江戸の華」	2020年7月11日 ～9月22日	都市江戸に暮らした武家や商人・町人の 儀礼、祭礼、婚姻 など、「ハレ」の場面や舞台に注目し、 活発で明るい江戸のすがた を明らかにします。当館所蔵資料のうち優品・初出品の資料を中心に、華やかで大きな資料を重点的に展示し、東京2020オリンピック・パラリンピックを機に東京を訪れる国内外の来館者にもわかりやすく、楽しめる内容とします。
特集展示 「相撲の錦絵」	2020年7月21日 ～9月6日	相撲は、江戸庶民の娯楽の一つとして、今日、世界の多くの人々に知られています。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催時期に合わせ、当館では、 江戸相撲の歴史と文化、相撲絵の名品 を、常設展示室、江戸ゾーン「江戸の四季と盛り場」コーナーで展示します。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※ 開館時間：9時30分～17時30分

（土曜日は19時30分まで。7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長）

※ 休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始

東京都江戸東京博物館(2)

事業名	会期	概要
企画展 「大東京の華 —特選！江戸博ベストコ レクション—」	2020年8月25日 ～11月23日	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催により、東京は世界中から注目を集めています。その歴史は1868年（慶応4）「東京」の誕生に始まり、関東大震災からの復興を遂げ、近代的な都市「大東京」へと発展していきました。当館所蔵の選りすぐりの作品及び資料を通して、 華やかな都市文化 を紹介します。特別展「大江戸の華」と連動する展覧会です。
特別展 「縄文—東京の縄文人、 1万年の暮らし—」	2020年10月10日 ～12月6日	東京都埋蔵文化財センターと国立歴史民俗博物館の特別協力により、「 東京の縄文 」をテーマとした、東京都における30年ぶりの展覧会を開催。縄文時代を生きた人々の “生、の暮らしぶり を伝える展覧会とします。江戸の暮らしや文化を振り返る礎として、その源流とも言うべき 東京の縄文人の生活 に焦点を当てます。縄文時代の出土品が使用されていた 生活空間や道具の実際の使用 を復元・再現します。（江戸東京たてもの園と同時開催します。）
特別展 「古代エジプト展 —天地創造の神話—」	2021年1月2日 ～4月4日	世界有数の 古代エジプトコレクション を誇る、 ベルリン国立博物館群 の収蔵品から「神々の世界」「ファラオたち」「最後の審判」などをテーマとした作品を選りすぐり、従来にはない「 古代エジプト神話 」に焦点を当てた展覧会とします。映像などにより 神話の世界を疑似体験 できる演出を行い、個性的な造形美を成す作品等を通して 壮大な文化 を体感していただけます。 東京の姉妹友好都市・ベルリン国立博物館群 の所蔵品を展示し、両都市のさらなる友好と信頼の進展に寄与します。
企画展 「徳川宗家2020」	2021年1月2日 ～2月23日	当館は、1993年の開館以来、 徳川宗家が所蔵 している資料を継続して調査しています。この調査の成果を、常設展示室において、 毎年異なるテーマ に基づき、公益財団法人徳川記念財団と共同で展覧会を開催しています。
企画展 「市民からのおくりもの 2020」	2021年3月9日 ～5月9日	当館が 新規に収集したバラエティー豊かな資料 を公開するとともに、寄贈者に謝意を表し、博物館活動への理解を深めてもらうことを目的とした展覧会です。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※ 開館時間：9時30分～17時30分

（土曜日は19時30分まで。7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長）

※ 休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始

江戸東京たてもの園(1)

事業名	会期	概要
特別展 「ぬくもりと希望の空間 ～大銭湯展」	2020年3月3日 ～9月27日 20時30分まで夜間特別開園: 8月15日、16日	当園に移築・復元している、1929（昭和4）年建築の銭湯「子宝湯」から、 東京型銭湯の独自の様式と展開を紹介する 展覧会です。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催時期にあわせ、わが国独自の入浴の歴史や民俗についても紹介します。
こどもの日イベント	2020年5月4日、5日	ゴールデンウィーク期間の2日間、子供たちが昔の暮らしの様子を体験できる イベントを開催します。昭和の商店建築が建ち並ぶ下町エリアで、おつかいメモを持って 昔の商店を巡る買い物体験 をはじめ、鯉のぼりがそよぐ東の広場ではベーゴマ、茅葺きの民家では新聞紙でつくる紙の兜や風車作り等、園内全体で 昔の遊び を存分にお楽しみいただけます。
夜間特別開園 下町夕涼み	2020年8月15日、16日 20時30分まで夜間特別開園	開園時間を延長し、夏の夕べの過ごし方を体験 していただけるイベントです。園内の「下町中通り」では、提灯や建物の灯りがともる復元建造物の商店が 下町の夏の風情 を感じさせます。伝統的な日本の民家では、夕べの涼やかな風を感じながら過ごしていただけます。
特別展 「縄文 一われらの祖先は1万年 をいかに生きていたか」	2020年10月10日 ～2021年2月下旬	今からおおよそ1万6000年前から1年以上にわたって続いた縄文時代。この長い時代を私たちの祖先はいかに生きていたのか？当園では、 日本人の心のもととなった“江戸文化”を振り返る礎として、その源流とも言うべき縄文時代の暮らしに焦点を当てた展覧会 を実施します。 （東京都江戸東京博物館と同時開催します。）
夜間特別開園 紅葉とたてもの ライトアップ	2020年11月21日～23日 20時まで夜間特別開園	紅葉が深まる時季に合わせ、特別に開園時間を延長 して行うイベントです。園内の色づく木々と歴史的建造物をほのかな光で美しく照らし出し、建物の中にはあたたかな灯りがともる、昼間とは趣の異なる 夜のたてもの園を散策 していただけます。 和ろうそくやガス灯など、昔のあかりを学べる催し をはじめ、 民家の囲炉裏や洋館の暖炉で暖をとる体験 など、さまざまなプログラムをお楽しみいただけます。
江戸の正月を楽しもう	2021年1月2日、3日	正月2日、3日に 入園無料 の特別開園を行い、皆様をお迎えするイベントです。園内の復元建造物に しめ飾りや門松 を立て、 獅子舞や太神楽 などの新年にふさわしい 伝統芸能 をご覧ください。また、 江戸時代より庶民に親しまれていた縁起物の「宝船絵」 （印刷物）を、先着順でお配りします。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
 詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。
 ※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711

<https://www.tatemono.jp/>

※ 開園時間:9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

※ 休園日:月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

江戸東京たてもの園(2)

事業名	会期	概要
正月の昔あそび	2021年1月9日、10日	羽根つきや独楽まわしなどの外遊びや、かるた、双六、福笑いなどの室内遊びのほか、書き初めや、お囃子の演奏等、昔のあそびや正月に行われてきた 伝統的な行事 を体験することができるイベントです。お着物でお越しの方は割引でご入園いただけます。
成人の日はたてもの園へ	2021年1月11日	晴れの日の記念に、歴史ある建造物が建ち並ぶたてもの園で新成人をお祝いするイベントです。人力車での園内めぐりのほか、復元建造物である写真館内のスタジオでは、お手持ちのカメラで 記念撮影 ができます。 新成人は無料 でご入園いただけます。
特別展 「日本の民家 一農家と町屋」	2021年3月中旬～ 6月下旬	園内に移築された建造物を中心に、江戸の農家と町家の構造と、そこに住まう人々の生業の諸相を取り上げ、近世日本における庶民生活を展観します。
たてもの園フェスティバル	2021年3月21日～28日	小金井公園にある1700本の桜のつぼみがほころぶこの時期、子供から大人まで一緒に楽しめるイベントです。 体を使って建物の形を表す「けんちく体操」 をはじめ、園内の建物に関するクイズを解きながら巡るスタンプラリーや、 建築に関するワークショップ 、アーティストによるパフォーマンス等を日替わりで行います。開園記念日の 3月28日は無料 でご入園いただけます。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711

<https://www.tatemonoen.jp/>

※ 開園時間:9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

※ 休園日:月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

東京都写真美術館(1)

事業名	会期	概要
「写真とファッション」	2020年3月3日 ～5月10日	この展覧会は 1990年代以降の写真とファッションの関係性 を探る初の試みです。これまで写真は衣服が持つ魅力を伝えるという役割を担ってきました。1990年代に入り、 新たな写真家やファッション誌の登場は、人々の考え方や生活スタイルに影響を与え 、さらに近年では、SNSを通して、ファッションショーの様子がタイムラグなく一般の人々に届けられています。 エレン・フライス、高橋恭司 らの作品や、フランスを代表するインディペンデント・モード・ファッション誌『Purple』誌などの貴重な資料から、時代のターニングポイントを見つめ直します。
「日本初期写真史 関東編 幕末明治を撮る」	2020年3月3日 ～5月24日	幕末明治期における関東地方の写真文化を紐解く展覧会 です。三章構成とし、一章では、 欧州で発祥した写真が日本において普及するまでの歴史 と、当時の写真技術を紹介します。二章では、 関東地方を訪れた写真家や写真技術者の活躍 を史料で展覧し、さらに 一都六県で開業した写真家たち も紹介します。最終章では、ペリーの肖像写真から建設中の東京駅まで、 開港前後の激動の関東地方の様子を、バラエティに富んだ初期写真で見渡します 。
「白川義員写真展 永遠の日本／天地創造」	2020年3月20日 ～5月17日	よしかず 白川義員（1935-）は“地球再発見による人間性回復へ”を基本理念として、1969年出版の『アルプス』から、10にもものぼるシリーズ作品を発表してきました。本展は 二期構成で、シリーズ第11作目「永遠の日本」と、シリーズ第12作目となる最新作「天地創造」 を紹介します。写真家生活50年以上にわたり白川が撮り続けてきた、国内外におよぼ選りすぐりのダイナミックな風景美を、 最新のデジタル技術によるかつてないスケールと臨場感 で再現します。
「日本・オーストラリア 現代写真」	2020年5月19日 ～7月19日	オーストラリア は大規模な美術館を複数有し、現代美術の祭典シドニー・ビエンナーレを開催するなど、 世界有数の文化国 です。この展覧会では、 想像をはるかに超える出来事が起こる現代 に生きる私たちの、 個人と個人、社会との関係を見つめなおします 。歴史や文化的な背景が異なる二国間において、その 差異や共通点を拾い上げ ながら、各作家の表現を通して、過去と未来、生と死、記憶と忘却のサイクルについて考えます。
「森山大道の東京」	2020年6月2日 ～9月22日	1960年代より写真家として活動を始めた 森山大道 は、ハイコントラストや粗粒子画面による 「アレ・ブレ・ボケ」と形容される作風 で、写真界に衝撃を与えました。ニューヨーク・メトロポリタン美術館やサンフランシスコ近代美術館での回顧展をはじめ、パリ・カルティエ現代美術財団で「DAIDO TOKYO」展を開催するなど、 世界の最先端で活躍 しています。本展は、 一貫してレンズを向け続けた街・東京を捉えた「森山の東京」決定版 といえる展覧会です。
「日本の新進作家vol.17」	2020年7月28日 ～9月22日	「日本の新進作家」展は創造的精神を支援し、 新進気鋭の作家を発掘するグループ展 です。第17回目は 「光、いまここを超えていく力」 をテーマに、写真・映像をメディアとする作家たちを紹介します。「光」は未来と希望の象徴です。作家たちは、 「光」を重要な要素とし、自身を取り巻く現代を反映して、独自の作品世界を展開 します。未来への直感や明日への活力。これが本展のメッセージです。

※この内容は2020年1月28日現在のもので、事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033

<https://www.topmuseum.jp>

※ 開館時間：10時～18時（木曜日・金曜日は20時まで。7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長）

※ 休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、臨時休館日

東京都写真美術館(2)

事業名	会期	概要
「エキソニモ」	2020年8月18日 ～10月11日	1990年代から一般に普及し始めたインターネットをいち早く素材として扱い、ユーモアのある切り口と新しい視点を備えた作品で、ネットアートを軸足に、メディアアートの領域を牽引してきたエキソニモ(千房けん輔と赤岩やえ)。ニューヨークを拠点に活動する2人にとって公立美術館初となる大規模展では、代表作や当館コレクションなどから映像史の再考や、新たなメディアと映像表現の可能性を提示します。
「石元泰博」	2020年9月29日 ～11月23日	モダニズムに裏打ちされた厳格な画面構成と造形意識から、日本にとどまらず国際的にも高い評価を得ている写真家・石元泰博。2021年に生誕100年を迎えるにあたり、いち早く、約60年に及ぶ創作活動の軌跡を回顧します。被写体への鋭いまなざし、撮影に対する飽くなき探究心によって生み出された、研ぎ澄まされた美の世界。石元の生涯をたどるとともに、今も際立った存在感を放ち続ける名作の魅力に迫ります。
「TOPコレクション 琉球弧の写真と映像」	2020年9月29日 ～11月23日	「琉球弧」(奄美群島から八重山列島にかけて弧状に連なる島々)をテーマに、当館コレクションより主に1960年代以降の沖縄の写真表現を振り返るとともに、これまで日本の公立美術館で紹介されることが少なかった、沖縄県出身の代表的な作家の写真作品を網羅的に紹介する初の展覧会です。沖縄島だけでなく、離島を写した作品など、琉球弧の文化の多様性をバラエティ豊かな作品群で紹介します。
「瀬戸正人」	2020年12月1日 ～2021年1月24日	1981年よりフリーランスの写真家として活動を始めた瀬戸正人は、バンコク、ハノイ、故郷福島を行き来しながら、ライフワークとしてそれぞれの街や自然風景、人々を記録し続け、現代日本を代表する写真家の一人として内外から高い評価を得ています。本展では、デビュー作〈バンコク、ハノイ1982-1987〉から震災後の福島を捉えた最新作〈Cesium-137Cs-〉に至る各時代の代表作を通じて、瀬戸の目が捉えたバンコク・東京・福島をたどります。
「光のメディア」	2020年12月1日 ～2021年1月24日	本展は、写真作品における「光」のとらえ方を、2つの視点で考察します。1つは、カメラを使わずに作品を制作するカメラレス・フォトグラフィ表現の系譜をたどり、モホイ＝ナジ、マン・レイなど19世紀から現代までの作品を紹介します。一方で、カメラを使う表現では、光そのものを捉えようとした作品に注目し、バーバラ・モーガン、佐藤時啓、杉本博司らによる多重露光の作品や、不可視なものを捉えようとした心霊写真など、多様な表現を紹介します。
「第13回恵比寿映像祭」 【アーツカウンシル東京事業】	2021年2月5日～21日	恵比寿映像祭は、多種多様な映像表現を提示体感することにより、多くの人々が親しみや刺激を受ける場とし、アーティストの創造活動を発掘・支援する場として機能させることを目的とした国際フェスティバルで、今回で13回目となります。当館の全フロア、恵比寿ガーデンプレイスおよび地域に広がる文化施設を会場とし、映画、アニメーション、実験映像、ドキュメンタリー、現代美術の映像作品ほか、多様なジャンルの映像芸術表現が一堂に揃います。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033

<https://www.topmuseum.jp>

※ 開館時間: 10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで。7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長)

※ 休館日: 月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

東京都写真美術館(3)

事業名	会期	概要
「澤田知子」	2021年3月2日～5月9日	<p>澤田知子（1977-）は、2000年にセルフポートレート作品《ID400》でキャノン写真新世紀優秀賞を受賞、現在、国内外で高く評価される女性作家です。澤田はセルフポートレートの手法を軸に、自ら「シャッターを押すことのない写真家」として、一貫した制作を行ってきました。本展では、新作を初公開するほか、鮮烈なデビュー作や代表作より、「内面」と「外面」の違いに疑問を持ちながら制作を続ける、澤田の歩みに焦点を当てます。</p>
「写真発祥地の原風景 北海道編」	2021年3月2日～5月9日	<p>国内の写真発祥地のひとつとして重要な「北海道」を、幕末明治期の初期写真から通覧する展覧会です。江戸幕府の直轄地であった北海道は、箱館（函館）や松前藩を筆頭に交易で栄え、ロシアを経由して写真技術が伝播します。箱館戦争を経て、開拓地として注目されると、西洋近代化する街や人々を多くの国内外写真家が撮影しました。初期写真とともに当時の貴重な器材や資料をダイナミックに展示し、幕末明治の北海道へとタイムスリップする試みです。</p>

※この内容は2020年1月28日現在のもので、事業内容は変更する場合がございます。
 詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033

<https://www.topmuseum.jp>

※ 開館時間：10時～18時（木曜日・金曜日は20時まで。7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長）

※ 休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、臨時休館日

東京都現代美術館(1)

事業名	会期	概要
「オラファー・エリアソン ときに川は橋となる」	2020年3月14日 ～6月14日	光や水、霧等の自然現象を自在に変容させ、見る者に新しい知覚体験を与える作品で世界的に高く評価されている オラファー・エリアソン (1967-、コペンハーゲン生まれ)の 個展 です。本展は「 エコロジー 」をテーマに、自然を再構築した インスタレーション や彼のルーツである アイスランドの風景写真 から近年の 建築やデザイン のプロジェクトまで、 環境や社会に対するアート の多面的な可能性を探求し続ける エリアソン の試みを紹介します。
カディスト・アート・ファウンデーションとの共同企画展 「もつれるものたち」	2020年3月14日 ～6月14日	作品収集、展示、レジデンス等を通じて、世界的にアーティスト支援を行っているカディスト・アート・ファウンデーションとの共同企画展 として、 12組のアーティストによるインスタレーション、映像、絵画、パフォーマンス を紹介します。ある場所や時代と結びついた「もの」が、物質としてだけでなく、意味や価値の媒介者としてどのような変化を遂げたのかを辿り、紐解く作品群から、現代社会の諸相を見つめます。
「ドローイングの可能性」	2020年3月14日 ～6月14日	デジタル化の加速する現代社会にあって、逆に、表現における ドローイングの可能性 は広がっています。本展では、 美術家による線を核とする表現だけでなく記号的な機能をもつ表現を、現代におけるドローイングとして取り上げ、空間と時間をめぐる思考の実験とその可能性を再考 します。
「MOTコレクション」	2020年3月14日 ～6月14日	改修休館中に収蔵された作品の中から寄贈作品を中心に、1930年代から近作にいたるまでおよそ160点を展示 します。本展では、過去と現在、記憶と記録、美術館とコレクターといった複数の視点の交差を通して、美術のあり方そして コレクションの意義 を考えます。
「石岡瑛子」	2020年7月11日 ～10月18日	アート・ディレクター、デザイナーとして多岐に渡る分野で新しい時代を切り開き、アカデミー賞、トニー賞受賞に輝く等高い評価を受けつつ世界を舞台に活躍した、石岡瑛子(1938-2012)の初の大規模な回顧展 。女性の時代を印象づけた資生堂やパルコをはじめとする 広告キャンペーン から、映画、オペラ、演劇、サーカス、ミュージックビデオ、オリンピックのプロジェクト等、名だたる巨匠たちとの コラボレーション のもと、その唯一無二の個性と情熱が刻印された仕事を総覧します。
「おさなごころを、きみに」	2020年7月11日 ～10月18日	かつてこどもだった大人が忘れてしまったクリエイティブな「おさなごころ」を思い起こさせ、ネオテニー(幼形成熟)的な日本のこころをベースに、驚きを生むメディアを通して、こどもと大人がともに楽しめる展覧会 を行います。触覚の森、身体の森、音楽の森、言葉の森、忘却の森と名づけられた空間を巡り、 インタラクティブ作品、ダンス、詩や朗読、音楽や現代美術コレクション を体験します。併せて 教育機関連携や、地域と連携したワークショップ を展開します。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-1134 FAX 03-5245-1141

<https://www.mot-art-museum.jp>

※ お問い合わせ受付:10時～18時(美術館開館日)

※ 開館時間:10時～18時(7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長)

※ 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

東京都現代美術館(2)

事業名	会期	概要
「MOTコレクション」	2020年7月11日 ～10月18日	本展では、初めて現代美術をご覧になる方も楽しめるような選りすぐりの作品をご紹介します。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催にあわせて、関連作品を展示します。
「吉阪隆正展」	2020年11月14日 ～2021年2月21日	ル・コルブジュエの弟子の一人として、日本にモダニズム建築の思想を普及させた建築家・吉阪隆正(1917-1980)の回顧展。代表作に大学セミナーハウス、ヴェネチア・ビエンナーレ日本館などがあり、教育者、登山家、文明批評家として提唱した「有形学」や「不連続統一」といった独自の理論は、未来を考えるための示唆に富んでいます。多面的な吉阪隆正の思想を、ことば・スケッチ・図面・模型・写真・映像等で構成・展示します。
「MOTアニュアル2020」	2020年11月14日 ～2021年2月21日	「MOTアニュアル」は、異なる文化や表現領域が混合する空間としての東京に拠点を置く美術館ならではの視点から、日本の若手作家の作品を中心に、現代美術の一側面を切り取り、問いかけや議論の始まりを引き出すグループ展のシリーズです。16回目となる今回は、社会の仕組みや自然界の法則等を観察し、それを自分の手で、あるいは誰かと協働して再構築する試みを行っているアーティストを紹介します。
「MOTコレクション」	2020年11月14日 ～2021年2月21日	当館のコレクションの中には「現代美術」と聞いて思い浮かべる時代を遥かに遡るような作品があります。本展では、現在の美術の成り立ちを探るように、制作年の最も古い作品から順を追って展示し、コレクションの新たな一面をお伝えします。
「TOKYO ART BOOK FAIR 2020」	2020年11月20日 ～11月23日	TOKYO ART BOOK FAIRは、2009年にスタートした、アート出版に特化する日本で初めてのブックフェアです。11回目の開催となる2020年は、展示室においてオランダの出版文化を紹介するとともに、さまざまなゲストを交えてのトークイベント等を開催します。パブリックエリアではアートの文脈において価値のある書籍、独創的なアイディアをかたちにしたアーティストブック、一般書店では手に入らない少数のZINE(自主制作出版物)等を作る出版社やギャラリー、アーティストが一堂に会します。
「MOTサテライト2020 ハイファイブ」 【アーツカウンシル東京事業】	2020年夏～秋頃	美術作品を街歩きと共に楽しみ、「まち＝地域」の魅力を再発見する「MOTサテライト」の5回目です。お互いに祝福しあい親愛の情を示す挨拶「ハイファイブ(和製英語でハイタッチ)」をキーワードとし、美術館内や清澄白河のまちの中で、展示やイベントを行います。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-1134 FAX 03-5245-1141

<https://www.mot-art-museum.jp>

※ お問い合わせ受付: 10時～18時(美術館開館日)

※ 開館時間: 10時～18時(7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長)

※ 休館日: 月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

東京都現代美術館(3)

事業名	会期	概要
「アトリウム・プロジェクト」	2020年11月20日 ～2021年2月21日 (期間中随時開催)	拡張する現代美術の動向をいち早く紹介するため、美術館展示には収まらない、ダンス、音楽、パフォーマンス等の要素を取り入れた作品の紹介や、長編映像の上映会、アーティストによるワークショップ等を開催します。
「CULTURE CHANEL -伝説」	2021年3月20日 ～6月20日	2007年以来、ジャン＝ルイ・フロマンのキュレーションによって、世界中の都市で開催されてきた「CULTURE CHANEL」展。8回目となる今回は「伝説」というテーマのもと、ガブリエル・シャネルのクリエイションの世界、またその基礎となっているガブリエル・シャネルの独特な美的感覚が、どのように培われたのかに焦点を当てます。数々の芸術家と深い交流のあった彼女の思想が、様々な絵画、書籍、原稿、洋服、ジュエリー、香水といった展示品とともに、7つの章にわたって描き出されます。
「マーク・マンダース」	2021年3月20日 ～6月20日	彫刻や詩、単語、オブジェ等を用いたインスタレーション作品によって国際的に評価の高い現代美術作家、マーク・マンダース(1968年-、オランダ、フォルケル生まれ、ベルギー在住)の国内美術館における初個展です。初期の重要な作品やドローイングとともに、展示する空間に応じた(当館オリジナルの)スケール感のあるインスタレーションを構成します。時間が止まったかのような独特な作品空間と詩的な彫刻を通して、虚構と実在を問うマンダース作品の魅力を十分に体験していただく機会となります。
「MOTコレクション」	2021年3月20日 ～6月20日	当館コレクションの中には「現代美術」と聞いて思い浮かべる時代を遥かに遡るような作品があります。前回のMOTコレクションに続き、現在の美術の成り立ちを探るように、制作年の最も古い作品から順を追って展示し、コレクションの新たな一面をお伝えします。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-1134 FAX 03-5245-1141

<https://www.mot-art-museum.jp>

※ お問い合わせ受付:10時～18時(美術館開館日)

※ 開館時間:10時～18時(7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長)

※ 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

東京都渋谷公園通りギャラリー

事業名	会期	概要
グランドオープン記念事業 「あしたのおどろき」	2020年2月8日 ～4月5日	動物や日用品、風景といったごく身近なものをモチーフとして扱う作家や、ドローイング、油彩、刺繍やアップリケ等幅広い表現形態を用いる作家、素材や空間を効果的に使用する作家等を取り上げ、 誰の日常にも潜在的にあるおどろきや発見といった体験をテーマとして、アール・ブリュット等のさまざまな作品を紹介 します。
「フィールド⇄ワーク」	2020年4月25日 ～7月5日	独自の創作を続ける作り手たちと、ひとりの写真家(齋藤陽道)が出会う展覧会 です。作り手たちの作品(ワーク)とともに、彼らの日常を取材した写真作品により生活や創作の場(フィールド)を捉えます。写し出された作り手たちの姿、日常の風景や気配などは、作品の読み解きに新たな一面を加えることとなるでしょう。作品鑑賞を通じて、他者との新たな出会いを創出し、人の創造活動のはじまりを考える機会とします。
アール・ブリュット2020 特別展	【巡回会場】 2020年4月～7月上旬 【東京都渋谷公園通りギャラリー】 2020年7月24日 ～9月13日	東京都や区市町村等と連携し、海外での展示で高く評価された国内の代表的なアール・ブリュット作品の展覧会 を開催します。都内5箇所を巡回した後、東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間に合わせ、東京都渋谷公園通りギャラリーでの展示等を行います。より多くの方にアール・ブリュット作品に触れていただき、ダイバーシティの理解促進を図ります。
「祭りのあとで」	2020年10月13日 ～12月13日	文化の祭典でもあるオリンピック・パラリンピックを終え、継続的にアートを通じたダイバーシティや共生を考えるため、 現代アーティストによる体験型アート等の作品展示および参加型イベント等を開催 します。同時代の芸術表現を通して様々な人々の創造性に触れ、対話を深める機会を作り出します。
「アール・ブリュット・ナウ」	2021年1月23日 ～3月21日	国内の福祉施設を中心に、活発な展開を見せているアール・ブリュットの動向を捉え、各地で積極的な活動を行う作家の作品や特徴的な展示を行う施設を紹介し、 アール・ブリュットの多様な創造活動に触れる機会 とします。
交流事業	2020年4月1日 ～2021年3月31日 (年間約20～40タイトル)	様々な背景を持つ参加者が、多分野にまたがるアーティストやプロフェッショナルと交流することを可能にする、対話的で創造的な交流プログラムを通じ、アートを通じて社会における多様性を考える機会とします。 同時代の芸術表現を広く網羅するプログラムを展開 することで、ジャンルを超えた人々の豊かな交流を創出し、多様な人々が共生する社会のあり方を考える契機とします。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都渋谷公園通りギャラリー

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館 1階

電話 03-5422-3151 FAX 03-3464-5241

<https://inclusion-art.jp>

※ 開館時間:11時～19時(7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長)

※ 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)(1)

会場:TOKAS本郷

事業名	会期	概要
TOKAS-Emerging 2020	第1期:2020年4月4日 ～5月6日 第2期:2020年5月16日 ～6月14日	これまでに300名近くの新たな才能を紹介してきた 若手アーティストの発掘、育成、支援プログラム 。「TOKAS-Emerging 2020」では審査を経て選ばれた日本在住の35歳以下の6組を2期に分けて紹介します。展覧会初日にはゲストを交えてアーティスト・トークを開催します。
トーキョーアーツアンドスペースレジデンス2020 成果発表展	第1期:2020年7月4日 ～8月10日 第2期:2020年8月22日 ～9月27日	2006年より実施しているレジデンス・プログラム参加作家の滞在制作、滞在時のリサーチをもとに制作された作品による成果発表展。 2019年に二国間交流事業で海外の提携機関に派遣した作家や海外クリエイター招聘プログラムと国内クリエイター制作交流プログラムでTOKASレジデンス(東京都墨田区)に滞在した作家を2期に分けて紹介します。
TOKAS Project Vol. 3	2020年10月10日 ～11月8日	多文化的な視点を通じ、アートや社会等、様々なトピックについて思考するプログラム。 2020年度は国内外のアーティスト・ラン・スペース(アーティストが運営するスペース)と協働し、展覧会を行います。
OPEN SITE 5	第1期:2020年11月21日 ～12月20日 第2期:2021年1月9日 ～2月7日	アートにまつわるあらゆるジャンルを対象に、 新しい表現を創造し、社会へと開いていく意欲に満ちた企画が集まるプラットフォームを目指す企画公募プログラム 。選出された展示とパフォーマンス企画のほか、TOKASによる推奨企画や教育普及プログラムを実施します。
ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 3	2021年2月20日 ～3月21日	若手アーティストの発掘、育成、支援プログラム等を行ってきたTOKASの様々なプログラムに参加後、活動を展開しているアーティストを中心に、 注目すべき活動を行っているアーティストによるグループ展 を開催します。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細はトーキョーアーツアンドスペースオフィス広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペースオフィス》

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

電話 03-5245-1142 FAX 03-5245-1154

※ お問い合わせ受付:9時30分～18時15分

<https://www.tokyoartsandspace.jp/>

《トーキョーアーツアンドスペース本郷》

〒113-0033 文京区本郷2-4-16

※ 開館時間:11時～19時

※ 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS) (2)

会場:TOKASレジデンシー

事業名	会期	概要
オープン・スタジオ 2019-2020	2020年7月17日～19日、 2020年11月13日～15日、 2021年3月12日～14日	TOKASレジデンシー（東京都墨田区）では年間約50組のクリエイターが来日し、創作やリサーチを行っています。7月、11月、3月にクリエイターが潜在中の活動や制作した作品を発表します。作家による解説やゲストを招いてのトーク、スタッフによる作品解説、施設見学ツアーも行います。
夏の子どもワークショップ	2020年8月	アーティストを招き、子どもを対象とした制作ワークショップをTOKASレジデンシーのスタジオを使って開催します。

会場:東京都現代美術館

Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展	2021年3月20日 ～6月20日	東京都とトーキョーアーツアンドスペースは、海外での活動に意欲がある中堅アーティストの更なる飛躍を促すことを目的として、2018年度に「Tokyo Contemporary Art Award」を創設しました。今回、第1回目の受賞者となった風間サチコ、下道基行による展覧会を開催します。
--	----------------------	--

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細はトーキョーアーツアンドスペースオフィス広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペースオフィス》

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

電話 03-5245-1142 FAX 03-5245-1154

※ お問い合わせ受付:9時30分～18時15分

<https://www.tokyoartsandspace.jp/>

《トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー》

〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F(オフィス501)

※オープン・スタジオは11時～17時に開催

東京都美術館(1)

事業名	会期	概要
特別展 「ポストン美術館展 芸術×力」	2020年4月16日 ～7月5日	古今東西の権力者たちは、その力を示し、維持するために芸術の力を利用しました。本展では、エジプト、ヨーロッパ、インド、中国、日本などさまざまな地域で生み出された約60点の作品を通して、力とともにあった芸術の歴史を振り返ります。
「都美セレクション グループ展 2020」	2020年6月9日～30日 *グループ毎に会場を 分けて開催	従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、当館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し実施します。今年度は、審査により選出した3グループの展覧会を開催します。
企画展 「Walls & Bridges 世界にふれる、世界を生 きる」	2020年7月18日 ～10月9日	表現への情熱によって、自らの障壁を、展望を可能にする橋へと変え得たつくり手たち。本展では「記憶と想像/創造」をキーワードに、まったく異なる生き様を背景に生まれた作品により、アートの根源的な魅力について思いを巡らせてみたいと考えています。 【出品作家】東勝吉、増山たづ子、シルヴィア・ミニオ=パルウエルロ・保田、ズビニェク・セカル、ジョナス・メカス
特別展 「The UKIYO-E 2020 — 日本三大浮世絵コレク ション」	2020年7月23日 ～9月13日	質、量ともに日本の浮世絵三大コレクションと言っても過言ではない太田記念美術館、日本浮世絵博物館、平木浮世絵財団から選りすぐった約450点の浮世絵版画を展示します。浮世絵の初期から幕末まで、数多くの浮世絵師たちによる名品をお楽しみください。
特別展 「イサム・ノグチ 発見の道」	2020年10月3日 ～12月28日	自然と通底する抽象の世界を、生涯を掛けて追い求めた、20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチ（1904-1988）。本展では、類例なきつくり手の今日的な意味を明らかにし、その彫刻芸術の核心に触れる機会にしたいと考えています。
上野アーティストプロジェ クト2020<書>	2020年11月18日 ～2021年1月7日	公募団体に活躍している現代作家を紹介する「上野アーティストプロジェクト」の第4弾です。今回はテーマに沿って書の公募団体に活動する作家を選出し、ギャラリーAとCの会場特性を活かしながら、書ならではの表現を一般の方にもわかりやすく紹介します。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 FAX 03-3823-6920

<https://www.tobikan.jp>

※ 開館時間：9時30分～17時30分（特別展開催中の金曜日は20時まで。7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長）

※ 休館日：第1・第3月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、整備休館
特別展・企画展は毎月曜日休室（祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室）

東京都美術館(2)

事業名	会期	概要
東京都美術館コレクション展<書>	2020年11月18日 ～2021年1月7日	「上野アーティストプロジェクト」のテーマにあわせて、 現在、東京都美術館で収蔵している書作品を中心に展示 します。書の世界を分かりやすく紹介し、広く一般に伝える展覧会とします。
特別展 「世界遺産ローマ展」	2021年1月27日 ～4月4日	古代にさかのぼる、栄えある歴史と比類なき文化を誇る 世界遺産の都ローマ 。本展は、 古代から19世紀までの絵画、彫刻などの美術作品を通して、「永遠の都」と称される美しい都市の歴史と芸術を紹介 します。
「とびらプロジェクト」 フォーラム	2021年2月	当館は、 東京藝術大学と連携し「とびらプロジェクト」を実施 しています。 市民、美術館学芸員、大学教員の3者が対等な目線で対話を重ね、プログラムを実施 するなど、アートを介した人々の新しいコミュニケーションが生まれています。フォーラムでは、現在約120名からなるアート・コミュニケーター（とびラー）が所属する 「とびらプロジェクト」の具体的な活動を紹介 するとともに、 パネルディスカッション等 を実施します。アート・コミュニケーターの新規募集にあたり、活動の詳細がわかる、年に1度の機会となります。
建築ツアー	奇数月の第3土曜日など 年間10回程度	展覧会だけではなく、美術館の建物そのものも楽しんでほしい！そんな思いから始まったツアー です。当館の アート・コミュニケーター(とびラー)の案内で、館内外を散策し、建築の魅力に迫ります 。ガイド個人個人のオリジナリティが発揮され、それぞれ独自のツアーを展開中です。各回のツアー日時・内容は、美術館のホームページにて随時お知らせします。
障害のある方のための 特別鑑賞会	特別展ごとに1回	障害のある方がゆったりと安心・安全に特別展を鑑賞 できるよう、 休室日に特別鑑賞会を開催 しています。事前申込制で特別展ごとに1回開催し、当館の アート・コミュニケーター(とびラー)が当日のサポート をします。担当学芸員による展覧会ワンポイント・トーク（手話通訳付き）も開催します。
Museum Start あいうえの 【アーツカウンシル東京事業】	通年	Museum Start あいうえのは 上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子供と大人が学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」 です。ファミリー向けプログラム、学校向けプログラム、ダイバーシティ・プログラムを年間を通して開催し、ミュージアムが持つ豊かな文化資源を使った主体的な学びの場を 継続的に支援 していきます。（要事前申込）

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36
電話 03-3823-6921 FAX 03-3823-6920
<https://www.tobikan.jp>

- ※ 開館時間：9時30分～17時30分（特別展開催中の金曜日は20時まで。7月下旬から9月上旬の金曜日を中心に「サマーナイトミュージアム」として開館時間を延長）
- ※ 休館日：第1・第3月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、整備休館
特別展・企画展は毎月曜日休室（祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室）

東京文化会館(1)

事業名	会期	概要
上野 de クラシック	2020年4月～2021年3月 (全16回) 2020年4月22日 ほか	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に開催するコンサートです。ソロやアンサンブル等さまざまな形態の演奏をお届けします。平日の午前中を中心に、午後や夜にも開催予定です。 会場：小ホール
東京音楽コンクール 入賞者支援リサイタル	2020年4月～2021年3月 (全5回程度)	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に、入賞者と東京文化会館との共催によるリサイタルを開催します。 会場：小ホール
創遊・楽落らいぶ —音楽家と落語家の コラボレーション—	2020年4月～2021年3月 (全5回) 2020年4月30日 ほか	ミニ・コンサートと、落語と音楽のコラボレーションの2本立てからなる公演です。スペシャル版の夜公演(6月19日、11月5日)は、外国人にも楽しめるイラスト&英語字幕付きで開催予定です。 会場：小ホール
オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇄Tokyo⇄World 『ニュルンベルクのマイスタ タージンガー』	2020年6月14日、17日	世界で活躍する指揮者、大野和士が総合プロデュースを務め、ザルツブルク・イースター音楽祭、ザクセン州立歌劇場、新国立劇場との国際共同制作で贈る一大プロジェクトです。 総合プロデュース・指揮：大野和士 演出：イェンス＝ダニエル・ヘルツォーク 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
《響の森》コンサート	2020年7月14日、 2021年1月3日	国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、オーケストラによるコンサートを手頃な料金で鑑賞いただき、クラシック音楽の魅力をお伝えします。 指揮：小林研一郎（7月14日）ほか 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
夏休み子ども音楽会2020 《上野の森文化探検》	2020年8月10日	指揮者の解説を交えた、フルオーケストラによるファミリー向けのクラシックコンサートです。上野地域の美術館、博物館等に無料や割引で入場できる特典付きです。 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 会場：大ホール

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406

<https://www.t-bunka.jp/>

※ 開館時間：10時～22時

※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京文化会館(2)

事業名	会期	概要
第18回 東京音楽コンクール	第2次予選:2020年8月 19日、21日、23日 本選:2020年8月25日、 27日、29日	新人若手音楽家の発掘を目的としたコンクール です。2020年度は、 ピアノ、弦楽、金管 の3部門を対象に開催します。 本選ではオーケストラ伴奏による演奏審査を行い、各部門の第1位から第3位の入賞者等を選出し、表彰式を行います。 第2次予選（公開審査） 会場：小ホール 8月19日：金管部門、21日：弦楽部門、23日：ピアノ部門 本選（公開審査） 会場：大ホール 8月25日：金管部門、27日：弦楽部門、29日：ピアノ部門
東京文化会館オペラBOX 「アマールと夜の訪問者」	2020年8月30日	小ホールの特性を活かした 特色あるオペラ公演を、上野中央通り商店会との共催で、東京音楽コンクール入賞者を起用 して開催します。 演目：メノッティ作曲「アマールと夜の訪問者」 指揮：園田隆一郎 演出：岩田達宗 会場：小ホール
舞台芸術創造事業 歌劇 『ヴォルフ イタリア歌曲集』	2020年11月28日	小ホールの空間を活かした実験的、前衛的な舞台芸術作品を多彩なコラボレーションにより創造・発信する舞台芸術創造事業。2020年度は 音楽とダンスのコラボレーションによる室内オペラ をおおくりします。 演目：ヴォルフ作曲「イタリア歌曲集」 出演：老田裕子（ソプラノ）、小森輝彦（バリトン） ほか 演出：岩田達宗 会場：小ホール
第18回 東京音楽コンクール 優勝者 & 最高位入賞者 コンサート	2021年1月11日	第18回 東京音楽コンクール各部門優勝者・最高位入賞者の披露演奏会 です。各演奏後の司会者によるインタビューを通し、ソリストの人柄も紹介します。 ソリスト：ピアノ部門、弦楽部門、金管部門の各優勝者 又は最高位入賞者 指揮：角田鋼亮 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団 会場：大ホール
東京文化会館 公開リハーサル	2020年7月13日	《響の森》コンサート（7月14日）のリハーサルを無料公開 し、通常は非公開の 「音楽創り」を進めていく過程 をご覧いただくことで、公演の新たな魅力や楽しみ方を発見していただけます。 会場：大ホール
東京文化会館 バックステージツアー	2020年8月10日（子供向け）、 10月12日（2回）、 2021年2月8日（2回）	普段見ることのできない舞台裏等の見学 を通して、当館の歴史と事業を多くの方々に知っていただき、親しみを深めていただく機会を提供します。 <舞台編> と <建築編> を開催します。 ツアー内容：大ホール舞台装置や出演者が残したサインの見学、照明スポットの操作体験等 会場：大ホール

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45
電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406
<https://www.t-bunka.jp/>
※ 開館時間:10時～22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京文化会館(3)

事業名	会期	概要
ティータイムコンサート	全5回開催 (開催日未定)	昼下がりのひと時、 大ホール のホワイエで行う 無料のコンサート です。 出演者：東京都交響楽団員 会場：大ホール ホワイエ
貸館連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	次世代を担う 子供達や高齢者等を対象 とし、貸館利用者との連携により、 オペラやバレエ公演と連動したワークショップや公開リハーサル、パックスステージツアー等 を行います。 会場：大ホール ほか
地域等連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	都内外の文化施設と連携し、 若手アーティストの活躍の場の提供協力等 を行います。 会場：軽井沢大賀ホール ほか
Music Program TOKYO Enjoy Concerts! 【アーツカウンシル東京事業】	全55回以上開催 (開催日未定)	東京の音楽文化の活性化・創造力の向上を目指し、「 創造性 」と「 参加性 」を柱とした事業として、 多彩なコンサート を実施します。 ・Jazz meets Classic ・3歳からの楽しいクラシック ・プラチナ・シリーズ ・まちなかコンサート ・シャイニング・シリーズ
Music Program TOKYO Workshop Workshop! 【アーツカウンシル東京事業】	全130回以上開催 (開催日未定)	ポルトガルの音楽施設「 カーザ・ダ・ムジカ 」をはじめとした、 国内外の様々な機関と連携し、多様なワークショップを開催 するほか、ワークショップ・リーダーの育成プログラムを実施します。また、 社会的弱者等を対象としたプログラムを充実させ、地域文化施設と連携し、若手アーティストによる地域活性化を目指す事業 に取り組みます。 ・国際連携企画 ・東京ネットワーク計画 ・2020 on stage & legacy
Music Program TOKYO Music Education Program 【アーツカウンシル東京事業】	全50回以上開催 (開催日未定)	次世代を担う子供たちを中心に、幅広い層に向けて企画された、「 創造性 」と「 参加性 」を重視した 音楽教育プログラム を通年で実施します。 ・Talk & Lesson ・アウトリーチ・コンサート ・オペラをつくろう！ ・アウトリーチ・ワークショップ

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45
電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406
<https://www.t-bunka.jp/>
※ 開館時間:10時~22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場:音楽(1)

事業名	会期	概要
海外オーケストラシリーズ	2020年4月30日、 9月29日、10月24日	海外のトップ・オーケストラによる演奏会です。 アルトゥーロ・トスカニーニ・フィルハーモニー管弦楽団(4月30日)、 ロンドン交響楽団(9月29日)、 パリ管弦楽団(10月24日) 会場：コンサートホール
リサイタルシリーズ (ミーツ・ベートーヴェン・ シリーズ)	2020年5月22日、 7月10日、10月16日、 12月15日	生誕250周年を記念して作曲家ベートーヴェンの魅力にあらためて光を当てるリサイタル・シリーズ です。 ピアノ：清塚信也（5月22日）、山中千尋（7月10日）、 山下洋輔（10月16日）、清水和音（12月15日） 会場：コンサートホール
NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2020年8月16日	自作アルバムのグラミー賞へのノミネートなど、世界的に注目を浴びるジャズ作曲家、狭間美帆の構成によるシンフォニック・ジャズ・コンサート を2019年に続いて開催します。 構成・編曲：狭間美帆 指揮：未定 トランペット：アンブローズ・アキンムシーレ 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 会場：コンサートホール
ポンクリ・フェス2020 “Born Creative” Festival 2020	2020年9月25日、26日	作曲家の藤倉大をアーティストック・ディレクターに迎え、「 新しい音にであうフェスティバル 」を2020年度も開催。 出演：アンサンブル・ノマド（指揮：佐藤紀雄）、 アン・ランジロッチェ（ヴィオラ）、八木美知依（箏）、 ヤン・バング（エレクトロニクス）、 エリック・オノレ（エレクトロニクス）、 アイヴィン・オールセット（ギター）、 アルヴェ・ヘンリックセン（トランペット）、藤倉大（エレクトロニクス）、 大友良英（ターンテーブル） ほか 会場：コンサートホール ほか
東京芸術劇場 プラスウィーク2020	2020年10月3日、10日	吹奏楽の魅力を存分に味わえる演奏会シリーズ です。東京佼成ウインドオーケストラ（10月3日）、東京吹奏楽団（10月10日）による公演を演奏団体との提携で行います。 会場：コンサートホール
東京芸術劇場30周年記念公演 『フィガロの結婚』 ～庭師は見た！～	2020年10月30日、 11月1日	当劇場の30周年を記念して、初演時に好評を得たモーツァルトの歌劇『フィガロの結婚』～庭師は見た！～を再演 します。 総監督・指揮：井上道義 演出：野田秀樹 出演：寺田功治、大山大輔（フィガロ）、小林沙羅（スザンナ）、 廣川三憲（アントニオ） ほか 管弦楽：ザ・オペラ・バンド 会場：コンサートホール

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

※ 開館時間:10時～22時

※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：音楽(2)

事業名	会期	概要
読売日本交響楽団演奏会	2020年12月4日	マキシム・パスカルを指揮に迎え、フランス近代の巨匠たちの名曲を取り上げる演奏会を実施します。 指揮：マキシム・パスカル ソリスト：反田恭平 管弦楽：読売日本交響楽団 曲目：望月京／東京芸術劇場委嘱作品（世界初演）、 ラヴェル／左手のためのピアノ協奏曲、ドビュッシー／海、 ラヴェル／ラ・ヴァルス 会場：コンサートホール
芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー演奏会	2021年2月5日～7日	音楽大学を卒業した若手演奏家を対象とした「芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー」の1年間の活動の成果を披露する演奏会を実施します。 出演：芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー 会場：シアターイースト
音楽大学オーケストラフェスティバル	2020年11月22日、 12月6日、 2021年3月27日	首都圏音楽大学によるオーケストラ公演および選抜合同オーケストラによる公演です。 * ミューザ川崎シンフォニーホールとの共同制作事業 会場：コンサートホール
オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座)	通年で公演延べ11回、 講座4回開催予定	当劇場が誇るパイプオルガンによるコンサート・シリーズを開催します。 ナイトタイム・パイプオルガンコンサート（年間5回） ランチタイム・パイプオルガンコンサート（年間6回） パイプオルガン講座（年間4回） 会場：コンサートホール
読響 土曜／日曜 マチネ・シリーズ (事業提携)	通年(全20回開催)	読売日本交響楽団との事業提携に基づき、土日の午後に開催するコンサート・シリーズです。 会場：コンサートホール
コンサートホール活性化 事業	通年	午前中開催の人気企画「ランチコンサート・シリーズ」や、ヴァイオリニスト前橋汀子による「デイト・コンサート」など、一流の演奏をお手頃な入場料でお楽しみいただけるコンサートなどを年間を通じて実施します。

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

※ 開館時間：10時～22時

※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京芸術劇場:音楽(3)

事業名	会期	概要
都民コンサート	4月～10月(夏季休演)	<p>毎年恒例、4月から10月までの毎週水曜日と金曜日の昼に、日比谷公園小音楽堂で無料のコンサートを開催します。どなたでも自由に入場でき、音楽の楽しさを味わえるコンサートです。</p> <p>吹奏楽：警視庁音楽隊（水曜日） 東京消防庁音楽隊（金曜日）</p> <p>会場：日比谷公園 小音楽堂</p>
芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー	通年	<p>将来プロの演奏家を目指す小中高生を対象に、読売日本交響楽団メンバーが演奏指導などを行うクリニック・ワークショップです。</p> <p>会場：リハーサルルーム ほか</p>
東京ホワイトハンドコーラス	通年	<p>聴覚障害や自閉症、発声に困難を抱える子供たちの参加を重視したプロジェクトとして、2017年に結成された「東京ホワイトハンド・コーラス」。講師のソプラノ歌手コロネりかと日本ろう者劇団の井崎哲也を中心に、白い手袋をして歌う手歌の“サイン隊”が、盲学校に通う子供たちによるコーラス“声隊”と共にワークショップを行います。一般社団法人エル・システムジャパンとの共催事業です。</p>

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

※ 開館時間:10時～22時

※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：演劇・舞踊(1)

事業名	会期	概要
TACT/FESTIVAL 【アーツカウンシル東京事業】	2020年5月1日～6日	即興の影絵や砂絵で幻想的な世界を繰り広げる ステレオプティク の新作『 Stellaire 』を招聘。また振付家の 伊藤キム と 森下真樹 が「ダンス&ヴォイス」をテーマに、合唱団たちとはつらつたる遊戯を展開します。さらに、鈴木優人指揮/読売日本交響楽団による青少年のためのコンサートやまちなかライブなど、音楽プログラムも実施します。 会場：コンサートホール、シアターイースト、シアターウエスト、アトリエウエスト、ロワー広場 ほか
木ノ下歌舞伎 『三人吉三』 【アーツカウンシル東京事業】	2020年5月30日 ～6月7日	歌舞伎を現代演劇として上演して高い評価を集め、海外公演も成功させている木ノ下歌舞伎。若手劇団を紹介する芸劇eyesで、2015年にシアターウエストにて上演された同劇団の 人気レパートリー『三人吉三』を、キャストも新たにプレイハウスで上演 します。 作：河竹黙阿弥 監修・補綴：木ノ下裕一 演出：杉原邦生 会場：プレイハウス
東京芸術劇場・ イキウメ共催公演 新作公演	2020年5月28日 ～6月21日	常に独自で質の高い作品を生む中堅劇作家・ 前川知大 の書き下ろしによる イキウメの新作公演 。今回は 池谷のぶえ を客演に迎えてお届けします。 作・演出：前川知大 会場：シアターイースト
東京芸術劇場・ りゅーとびあ共催公演 Noism 『春の祭典』『Fratres III』	2020年6月19日～21日	新潟市民芸術文化会館舞踊部門の芸術監督である 金森穰 を中心に、レジデンス・ダンス・カンパニーとして 国内外で活発な活動を続けているNoism(ノイズム) による東京公演。 演出・振付：金森穰 出演：『春の祭典』Noism0、Noism1、Noism2 『Fratres』Noism0、Noism1 会場：プレイハウス
東京芸術劇場・ マームとジプシー共催公演 『cocoon』	2020年7月上旬	若手演劇界を牽引する劇団「 マームとジプシー 」の 藤田貴大 が、2013年と2015年に当劇場シアターイーストで実施した『cocoon』を、 スケール感を増した新演出で上演 し、全国巡回します。 原作：今日マチ子 作・演出：藤田貴大 会場：プレイハウス
『赤鬼』 【アーツカウンシル東京事業】	2020年7月25日 ～8月中旬	「 国境(ボーダー) 」「 移民 」といった 今日のテーマ をいち早く見据え、国内外で高い評価を得た 野田秀樹 芸術監督作の『 赤鬼 』を、東京2020オリンピック・パラリンピック開催で訪日客が増える時期に、 野田監督自らが演出し、「東京演劇道場」のメンバー等の若手俳優で新たに上演 します。 作・演出：野田秀樹 会場：シアターイースト

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

※ 開館時間：10時～22時

※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：演劇・舞踊(2)

事業名	会期	概要
トーマス・オスターマイアー演出 『人形の家』 【アーツカウンシル東京事業】	2020年8月8日～30日	ドイツが誇る世界的演出家のトーマス・オスターマイアーが、実力派日本人俳優との初コラボレーションで、イブセンの名作『人形の家』を現代に蘇らせます。常にラジカルに戯曲の核心に迫り、演技、装置、音響、映像を駆使して魂を揺さぶる舞台を現出させる鬼才が、満を持して現代演劇の革命に挑みます。 会場：プレイハウス
こどもらくご	2020年8月28日～30日	夏休みのファミリー企画。第一部は落語の所作等のワークショップ形式、第二部は本格寄席形式で上演します。こどもから大人まで楽しめるひとときをお届けします。 会場：シアターイースト
芸劇dance ワークショップ+発表会 『東京ディグノライズ2』 【アーツカウンシル東京事業】	2020年9月15日 ～9月21日	ダンスカンパニーBaobab主宰の北尾亘を講師に迎え、自分たちの暮らす場所、街や境界、都市の歴史や物語を掘り起こし(DIG)、そこから“新しい祭りを建て上げる”(RISE)というコンセプトで昨年に続き『東京ディグノライズ2』を展開。多彩なレクチャーや、ダンスメソッドをブラッシュアップして生まれるワークショップを経て、パワフルな発表会を行います。 会場：リハーサルルーム、シアターイースト
東京芸術祭2020 タニノクロウ 『ダークマスター』	2020年10月10日～18日	庭劇団ペニノ主宰の劇作・演出家タニノクロウの代表作として、国内上演のみならず、フランス・パリやオーストラリアでの公演も行い、世界的に高い評価を得ている本作を、新たに“2020年東京版”として上演します。 原作：狩撫麻礼 画：泉晴紀(エンターブレイン『オトナの漫画』所収) 脚色・演出：タニノクロウ 会場：シアターイースト
東京芸術祭2020 東京芸術劇場30周年記念公演 シルヴィウ・ブルカレーテ 演出 『野田版 真夏の夜の夢』	2020年10月15日 ～11月1日	芸術監督である野田秀樹作品を、ルーマニアを代表する鬼才演出家シルヴィウ・ブルカレーテが演出し、西洋と東洋の文化を融合した新しい演劇を本物志向の演劇ファンにお届けします。 原作：ウィリアム・シェイクスピア 潤色：野田秀樹 演出：シルヴィウ・ブルカレーテ 会場：プレイハウス
東京芸術祭2020 イヴォ・ヴァン・ホーヴェ 演出 『ローマ悲劇』	2020年11月6日～8日	数々の話題作を手掛け、世界をリードする演出家イヴォ・ヴァン・ホーヴェと彼の率いる劇団ITAの話題作であるシェイクスピアの“ローマ悲劇3部作”をマラソン上演します。上演中、観客は自由に席を移動し、舞台上で観劇することも可能という、現代性溢れる観客参加型の公演です。 作：ウィリアム・シェイクスピア 演出：イヴォ・ヴァン・ホーヴェ 出演：ITA 会場：プレイハウス

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容に変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

※ 開館時間:10時～22時

※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：演劇・舞踊(3)

事業名	会期	概要
東京芸術祭2020 ダミアン・ジャレ 名和晃平 新作公演『Planet』	2020年11月13日～15日	独特の戦慄的美意識で身体へのアプローチを試みる振付家ダミアン・ジャレ。泡や樹脂などの有機化学的な素材で彫刻の新たな地平を拓く名和晃平。この二人がコラボする新作『Planet』を、パリ・シャイヨー劇場と当劇場が共同制作し、パリでの世界初演に続き、日本初演を実現します。 会場：プレイハウス
東京芸術劇場・ モダンスイマーズ共催公演 『しがらみ紋次郎』	2020年11月21日～29日	脚本家・演出家の蓬莱竜太を中心に20年間にわたり活動を続け秀作を生み出してきた劇団モダンスイマーズが、21年目の新たな挑戦としてプレイハウスで新作公演を行います。 作・演出：蓬莱竜太 会場：プレイハウス
芸劇dance若手提携 山田うん『新作』	2020年11月27日～29日	常に先鋭的で意欲あふれる創造を展開し、圧倒的迫力で迫る群舞でも注目されるダンスカンパニーCo.山田うん。クラシック音楽からアジアのヒーリング世界まで東洋西洋の文化的ボーダーを越境する振付家の山田うんが次に目指すのは、音楽、美術、衣装ほか新たなクリエイターたちも結集してプレゼンする創造の新たな地平。 会場：シアターイースト
東京芸術劇場・ 宮崎県立芸術劇場共催 『神舞の庭』	2020年12月8日～13日	人気女性作家・長田育恵が、宮崎に滞在して創り上げ、好評を博した舞台の再演。東京では初演となります。 作：長田育恵 演出：永山智行(こふく劇場) 会場：シアターウエスト
東京芸術劇場・ 二兎社共催公演 『ザ・空気 vol.3』	2021年1月	マスコミによる自主規制や現代政治におけるポピュリズムの台頭など、社会的テーマにわかりやすい筆致で切り込み、批評的メッセージを巧みに内包した演劇シリーズの第3弾。 作・演出：永井愛 会場：シアターイースト
東京芸術劇場・ ホリプロ共催公演 ミュージカル『パレード』	2021年1月	ブロードウェイで高い評価を得たミュージカルで、前回の日本初演公演で好評を博したミュージカル『パレード』を再演します。 作：アルフレッド・ウーリー 演出：森新太郎 会場：プレイハウス

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<https://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間:10時～22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：演劇・舞踊(4)

事業名	会期	概要
東京芸術劇場・ イキウメ共催公演 カタルシツシリーズ	2021年2月	イキウメの実験室として位置づけられているシリーズ企画。2013年、ドストエフスキー原作『地下室の手記』の二人芝居を皮切りに、 無言劇、落語とのコラボレーションなど実験的な作品を上演 します。 演出：前川知大 会場：シアターウエスト
東京芸術劇場・ まつもと市民芸術館共催 『冬のカーニバル』	2021年2月	2019年にシアターイーストで上演された『K.テンペスト』で好評を博した 串田和美。昨年度に続いての串田作品の上演 です。 演出：串田和美 会場：シアターウエスト
東京芸術劇場・ いわてアートサポートセンター 共催 『岬のマヨイガ』	2021年3月	岩手在住の作家・柏葉幸子が震災をテーマに描き、野間児童文芸賞を受賞した作品。 東日本大震災から10年目となる2021年に岩手県内と東京で上演します。 原作：柏葉幸子 脚本・演出：詩森ろば 出演：竹下景子、坂元貞美 ほか 会場：シアターウエスト
若手提携公演	2020年4月～2021年3月	人気・実力ともに充実し、日本の演劇界を索引する若手・中堅劇団との提携公演を行います。 2020年度は、範宙遊泳、ロロ、ハイバイ、パラドックス定数、劇団チョコレートケーキ、FUKAIPRODUCE羽衣ほか です。 会場：シアターイースト
都民半額観劇会	通年(年4回)	都内の劇場で開催される質の高い作品を低廉な料金で観劇 できます。東京の芸術鑑賞環境の充実を目指すとともに、将来の演劇人口の裾野を広げる事業です。
東京演劇道場	通年	野田秀樹芸術監督及び国内外から野田が招いた講師によるワークショップを活動の軸として、 演劇を通じた自由な交流の場を目指すワークショップ・プロジェクトを展開 します。 会場：リハーサルルーム等劇場内各所

※この内容は2020年1月28日現在のもので、事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

※ 開館時間：10時～22時

※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等

事業名	会期	概要
レクチャー(公演関連、 アーツマネジメント)	通年	劇場主催のコンサートや舞台作品の背景などについて理解を深め、より豊かに鑑賞するためのレクチャーや、舞台芸術関係者のキャリアアップに役立つセミナー等を開催します。広く一般の方への舞台芸術への関心を促進する教育普及・人材育成プログラムです。 会場：東京芸術劇場内各所
ワークショップ (エデュケーションほか)	通年	国内外の優れた講師を招き、ファシリテーターやエデュケーターの養成から、子どもたちが劇場に親しむための企画まで、様々なワークショップや講座を開催します。 会場：東京芸術劇場内各所
バックステージツアー	6月	ロビーや客席エリアだけでなく、舞台や舞台袖、楽屋などバックステージも含めた解説付き見学ツアーです。舞台技術スタッフによる舞台美術・照明・音響などの体験型デモンストレーションなども行い、知られざる劇場の魅力を発見していただきます。 会場：プレイハウス
劇場ツアー	通年	当劇場の「劇場ツアー」は、単なるホール見学にとどまらず、劇場内の様々な場所を参加者と共に探索しながら劇場の楽しみ方を模索していきます。社会包摂の場としても機能する「劇場」を発見する絶好の機会となります。
アトリウムの賑わい創造事業 (地域連携、大道芸等)	通年	劇場前広場やアトリウム等のパブリック・スペースを活用し、大道芸やストリート・アートなど、様々なプログラムで劇場周辺の賑わいを創出します。また、地元豊島区や池袋エリアとの地域連携型の芸術文化イベントやレクチャーなども開催します。
障害者アーツ事業	通年	長くてしなるポールを使って行うストリート・パフォーマンス作品「The Garden」。2012年のロンドン・パラリンピックでも上演され話題となった本作品を、新たに日本で障害のある人を公募し、日本バージョンで上演します。 また、からだの内から沸き起こる身体表現を思い思いに楽しみ、個性をいかし合いながら共働でダンス作品を創造していくワークショップ企画「東京のはら表現部」を行います。それらの活動を通じ、障害のある人による身体表現のファシリテーターも育成していきます。

※この内容は2020年1月28日現在のもので、事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215

<https://www.geigeki.jp/>

※ 開館時間:10時~22時

※ 休館日:年末年始、保守点検日

Tokyo Tokyo FESTIVALスペシャル13(1)

事業名	会期	概要	
Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13	2019年9月 ～2020年9月 ※既に終了したプログラムもあります。	斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として、東京都との共催で実施します。 国内外から応募のあった2,436件から選定した13の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVALスペシャル13」と総称し、2019年からオリンピック・パラリンピックに向けて、順次展開しています。 【実施場所】 都内	
T o k y o T o k y o F E S T I V A L S p e c i a l 1 3	The Constant Gardeners	2020年夏	日本の禅庭園に見られる日本文化・美術の歴史を、世界的な視野で再構成し、ロボット工学を活用して表現。アスリートの動作を取り込んだロボットアームの動きにより、刻々と変化する日本庭園を創り上げます。上野公園を舞台として、ロボット工学と日本の庭園文化、そしてスポーツを融合させたインスタレーションを展開します。 【実施場所】 上野恩賜公園
	隅田川怒涛	「春」 2020年4月13日～19日 「夏」 2020年8月17日～23日	隅田川をひとつの舞台と見立てる音楽&アートフェスティバル。和田永、コムアイ、蓮沼執太ほか日本を代表するアーティストが、音楽、パフォーマンス、インスタレーション等を「春」と「夏」の2回にわたって展開します。200年前の江戸期の華やきを想い、この地の永い歴史に尊敬の念を込め、芸術表現活動を通じて人々が怒涛のように混ざり合っていく姿を描くプロジェクトです。 【実施場所】 隅田川流域各所
	世界無形文化遺産フェスティバル2020	2020年4月18日、19日	世界から無形文化遺産が集結するフェスティバル。世界各地に伝承されている伝統文化や芸能を集め、人々の交流を通じて文化の多様性と共生の意義を伝え、文化の未来への継承につなげます。世界五大陸から6か国（インドネシア、エストニア、エチオピア、トンガ、プータン、ホンジュラス）の伝統芸能を招聘するほか、東北の芸能を岩手県、宮城県、福島県から招聘し、東北の復興を祈るとともに無形文化遺産の価値を発信します。 【実施場所】 日比谷公園大音楽堂・小音楽堂ほか
	DANCE TRUCK TOKYO	2019年9月5日 ～2020年8月頃	輸送トラックの荷台を使用するモバイルの「DANCE TRUCK」を、東京都区部・多摩地域・島しょの様々な場所15か所で展開します。多分野の先鋭的なアーティストが多数参加。トラックの極小空間を身体/光/音で一体となる装置に変容させ、周りの環境とも呼応するパフォーマンスで見慣れた都市の風景を一変させます。 【実施場所】 東京都区部・多摩地域・島しょ
	TOKYO SENTO Festival 2020	2020年5月26日 ～9月6日	伝統的な人々の憩いの場・コミュニティーである日本独自の「銭湯文化」を世界に発信し、2020年を多くの人々とともに盛り上げるアートプロジェクト。漫画家やグラフィックアーティストなど、日本を代表する多様なアーティストが参加し、「ホットするアートな銭湯！」と身も心も熱くなる参加型イベントです。日本の伝統文化「銭湯」から世界に向けて、アツアツの日本文化の発信と、心温まる人々の交流を作り出します。 【実施場所】 都内銭湯約550か所

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細はアーツカウンシル東京広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

生活文化局文化振興部 企画調整課

電話 03-5320-7736 FAX 03-5388-1327

アーツカウンシル東京

〒102-0073 千代田区九段北4丁目1-28

電話 03-6256-8432(広報直通) FAX 03-6256-8828

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

Tokyo Tokyo FESTIVALスペシャル13(2)

事業名	会期	概要
TOKYO REAL UNDERGROUND	2020年4月～6月頃	東京の地下空間を舞台に繰り広げられる、実験的芸術のフェスティバル。東京という巨大都市の歴史的な時間と空間を「アンダーグラウンド」というキーワードで探索し、多様で意外性のあるプログラムを展開します。戦後の日本に生まれ、世界に広まった舞踏/Butoh を中心に、それに影響された様々な表現を、現代の地下空間で再生します。 【実施場所】 都内
パビリオン・トウキョウ 2020	2020年6月6日～9月13日	世界各地で活躍する日本人の建築家とアーティストが、独自のパビリオンを設計し、国内外からの観光客や住民に未来の建築やアートとして紹介します。パビリオンは新国立競技場を中心とする半径約3km圏内を中心に設置され、期間中見学ができます。地図を片手に宝探しのように、あるいは散歩のかたわらに巡ることができます。 【実施場所】 都内
光の速さ -The Speed of Light-	2020年5月～6月頃	アルゼンチン出身の演劇/映像作家マルコ・カナレによる演劇プロジェクト。東京をリサーチし、そこに暮らす高齢者へインタビューを行い、彼らの記憶や体験を基にした物語や東京という土地に紐づく歴史に焦点を当てます。高齢者が実際に出演するツアー型の演劇作品を中心に、短編動画とドキュメンタリー映像によって補充しながら、東京という都市を様々な角度から見つめ、その先の未来をも想像させる作品を制作します。 【実施場所】 都内
放課後ダイバーシティ・ダンス	2019年9月～2020年8月	都内3つの地域と連携し、舞踊を通じた新たな地域文化のプラットフォームを創出するプロジェクト。年齢や性別、国籍や体の違いを超えた多文化共生型のダンスを子供たちと創作します。尾上菊之丞氏をはじめ、菅原小春氏や砂連尾理氏など一線で活躍するプロダンサーや舞踊家、地域内で様々なダンスに関わる人などによるワークショップを通じて、子供たち自身が振付を行うことで、「創る」楽しさを伝えます。 【実施場所】 港区、国立市、日の出町ほか
まさゆめ	2020年夏	現代アートチーム 目 [mé]による、世界中から募集した候補から選ばれた「顔」を東京の空に浮かべるアートプロジェクト。2019年3月～6月に行った「顔募集」では世界中から1,400名以上のエントリーがあり、6月に行われた選定のための参加型公開ミーティング「顔会議」にはライブ配信も含めて延べ3,400名が参加・閲覧しました。選ばれた「顔」を立体物として造形し、2020年夏の東京の空に掲揚します。 【実施場所】 都内
漫画「もしも東京」展	2020年夏	現在の日本を代表する漫画家たちが、“もしもの東京”をテーマに、今までにないそれぞれの「東京」を描く展覧会です。 【実施場所】 東京都現代美術館

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細はアーツカウンシル東京広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

生活文化局文化振興部 企画調整課

電話 03-5320-7736 FAX 03-5388-1327

アーツカウンシル東京

〒102-0073 千代田区九段北4丁目1-28

電話 03-6256-8432(広報直通) FAX 03-6256-8828

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

Tokyo Tokyo FESTIVALスペシャル13(3)

事業名		会期	概要
T o k y o S p e c i a l F e s t i v a l 1 3	Light and Sound Installation "Coded Field"	2019年11月16日 ※実施終了	増上寺の建築データや地形データを、プログラミング（コード）を用いて解析し、光と音に変換するための情報を埋め込んだ場（フィールド）を仮想空間に生成。それらの目に見えない情報を、ライゾマティクスが独自に開発したバルーンデバイスを用いることで、現実空間において光や音に変換し、大勢の参加者が広範囲な場所で同時に楽しめる体験型インスタレーションです。またそれらの光と音に合わせて、コンテンポラリーダンスのパフォーマンスも披露されました。2020年度は、2019年に実施した状況を公開します。 【実施場所】 浄土宗大本山増上寺、港区立芝公園、東京都立芝公園
	シークレット企画	後日発表	後日発表。 【実施場所】 都内

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細はアートカウンシル東京広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

生活文化局文化振興部 企画調整課
電話 03-5320-7736 FAX 03-5388-1327

アートカウンシル東京
〒102-0073 千代田区九段北4丁目1-28
電話 03-6256-8432(広報直通) FAX 03-6256-8828
<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

アーツカウンシル東京(1)

事業名	会期	概要
東京キャラバン	2020年5月23日、24日	劇作家・演出家・役者である野田秀樹氏の発案により、多種多様なアーティストが出会い、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた文化ムーブメントです。2015年の東京・駒沢に始まり、リオデジャネイロ、東北(仙台・相馬)、六本木、京都(亀岡・二条城)、八王子、熊本、豊田、高知、秋田、いわき、埼玉、富山、岡山、北海道でそれぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを展開してきました。2020年は、第一線で活躍するアーティストや新しい才能と若きパワー溢れる表現者たちを迎え、リーディングプロジェクトとして始動してから6年間の結実となるパフォーマンスを新たに創作、披露します。 【実施場所】代々木公園
TURN	通年 (TURNフェスは夏季開催)	監修にアーティストの日比野克彦氏を迎え、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトです。アーティストと、福祉施設や社会的支援を必要とする人々が時間を重ねて交流し共働活動する「TURN交流プログラム」と、TURNの活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURNミーティング」と「TURNフェス」の開催によって広くその意義を発信します。2020年は、リーディングプロジェクトとして始動してから6年間の集大成と未来への幕開けとなる大規模な「TURNフェス」を国内外のアーティストや多様な施設、機関と協働しながら複数会場で開催します。 【実施場所】都内各所、東京都美術館、東京藝術大学 ほか
トパコ (都民パフォーマンスコーナー)	2020年春～9月	民間企業のビル等の場を開放して、都民の芸術文化活動の発表機会を創出する事業です。様々な人が文化プログラムへ参画すること、また従来の枠組みや場所にとらわれない文化プログラムの展開に繋げていくことを目的としています。会場提供企業等も含め、より多くの人の文化プログラムへの興味を喚起することも目指します。 【実施場所】都内
Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成	【採択事業実施期間】 2020年9月6日まで	東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえ、2020年により多くの人が文化プログラムに参加できるよう助成事業を実施しています。企画内容により、以下の4つのカテゴリで採択を行います。 ＜フラッグプロジェクト支援／市民創造文化活動支援／ 海外発文化プロジェクト支援／未来提案型プロジェクト支援＞ 【実施場所】都内 ※本助成事業は2016年度より実施してきましたが、2020年度で終了となります。なお、公募の申請期間は終了しています。
東京芸術祭2020特別公演 ファンタスティック・サイト	2020年5月29日～31日 (東京都庭園美術館) 2020年5月30日～31日 (八王子駅周辺)	「江戸」から「東京」へ、発展していった境目が垣間見える場所(ファンタスティック・サイト)において、パフォーマンス・アーツのジャンルのひとつとして海外からの評価が非常に高い日本発信のダンス「舞踏(暗黒舞踏)」やその流れを汲むダンサーによるパフォーマンスを実施します。 【実施場所】東京都庭園美術館・芝庭、八王子駅周辺 ほか
六本木アートナイト2020	2020年5月30日、31日	様々な文化施設や商業施設が集積する六本木の街を舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案するとともに、大都市東京におけるまちづくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する一夜限りのアートの饗宴。非日常的な体験を創出する、多様なプログラムを展開します。 【実施場所】六本木エリア

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細はアーツカウンシル東京広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

アーツカウンシル東京

〒102-0073 千代田区九段北4丁目1-28

電話 03-6256-8432(広報直通) FAX 03-6256-8828

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

アーツカウンシル東京(2)

事業名	会期	概要	
東京大茶会2020	①2020年9月～10月の2日間 ②2020年10月の2日間	都内の野外博物館と庭園において、様々な茶道の流派が一堂に会する大規模な茶会を催し、お茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を、国内外へ発信します。本格的な茶席や野点、初心者向けの茶道教室、英語で解説をする席に加え、日本文化を楽しめる催しやパフォーマンスなど、茶道に馴染みのない方や外国の方なども気軽に楽しめる茶会です。 【実施場所】①江戸東京たてもの園 ②浜離宮恩賜庭園	
キッズ伝統芸能体験	2020年9月～2021年3月	伝統芸能の一流の実演家が数か月にわたり子供たちを直接指導し、最後にその成果を本格的な舞台上で発表します。伝統芸能の「お稽古」という形を通して、日本人が古くから大切にしてきた心や感性、礼儀作法などの文化環境を学ぶ機会を提供し、伝統芸能を次世代へ継承すると同時に、東京の文化的魅力を向上させることを目的として実施する事業です。中・高校生のみを対象としたユースプログラムも展開します。 【実施場所】芸能花伝舎、梅若能楽学院会館、宝生能楽堂、国立劇場ほか	
プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～	通年	多摩地域・島しょ地域にて、オーケストラ公演やアンサンブル公演を実施します。子供から大人までクラシック音楽を身近に楽しめるよう、参加・体験型の企画を実施します。 【実施場所】多摩地域・島しょ地域の各所	
東京 アート ポイント 計画	TERATOTERA	通年	古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野・多摩地域に点在しているアートのスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するプログラムを展開します。テラッコ（ボランティア）の人材育成に注力し、プログラムの企画・運営の実践を通じ、アーティストとともにアートプロジェクトをプロデュースできる人材を育てます。 【実施場所】JR高円寺駅-国分寺駅エリア
	小金井アートフル・アクション!	通年	小金井市をフィールドに、市民がアートと出合うことで、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくることを目的とするプロジェクト。芸術文化によるまちづくりの検討や市民が事業に関わる場づくりを実施します。 【実施場所】小金井市
	アートアクセスあだち 音まち千住の縁	通年	足立区千住地域を中心に、アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）のつながりを生み出すことを目指す、市民参加型のアートプロジェクトです。市民とアーティストが協働して、「音」をテーマとした多様なプログラムや拠点形成などを展開します。 【実施場所】足立区

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細はアーツカウンシル東京広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

アーツカウンシル東京

〒102-0073 千代田区九段北4丁目1-28

電話 03-6256-8432(広報直通) FAX 03-6256-8828

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

アーツカウンシル東京(3)

事業名	会期	概要
HAPPY TURN／神津島	通年	約1900人が暮らす伊豆諸島のひとつ神津島において、島と関わる人々の島へのシビックプライドを醸成することを目指すアートプロジェクト。島民に加えて、島を離れて暮らす人、島外から移り住む人、一時的に滞在する人など、様々な立場の人々を対象に、島の歴史や生活文化などの地域資源について学び合う機会を生み出すことで、島内外の幅広い世代が島と関わるための場づくりや仕組みについて考えていきます。 【実施場所】 神津島村
500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」	通年	町田市でユニークな保育事業を展開する団体が、保育園や寺院等を取り巻く里山一帯を舞台に、土地の歴史や性質を踏まえながら、今後500年続く場と人のつながりの設計を準備するプロジェクトです。専門家や他の団体と連携しながら、子供と大人が共に取り組めるようなプログラムを展開します。 【実施場所】 町田市忠生地域
ファンタジア！ファンタジア！ —生き方がかたちになったまち—	通年	多くのアトリエやオルタナティブ・スペースが集まる東京都墨田区北部（墨東エリア）において、点在する文化拠点との連携やアートの思考を通じて、「学びの場」を形成するプロジェクト。街そのものの特性とこの街に集う人々がみせる文化的な生態系、そして区内外のアーティストや研究者など専門家のアクションが交わる状況を創造する場としてのラーニングプログラムの実施とそれらの検証から、豊かに暮らすための創造力や地域の文化資源の価値についてやわらかな観点で考えます。 【実施場所】 墨田区
Artist Collective Fuchu [ACF]	通年	府中市とその周辺地域を中心に、芸術・美術活動のあらゆる表現を通じて「アーティストにとって住みよいまち」、ひいては市民の自由で活発な「だれもが表現できるまち」を目指すプロジェクトです。 【実施場所】 府中市
移動する中心 GAYA	通年	昭和の世田谷をうつした8ミリフィルムのデジタルデータを活用し、映像を介した語りの場を創出するコミュニティ・アーカイブプロジェクト。映像の再生をきっかけに紡がれた個々の語りを拾い上げ、プロジェクトを共に動かす担い手づくりを目指します。 【実施場所】 世田谷区 ほか
[東京で(国)境をこえる]	通年	多くの在留外国人が生活する東京において、「見えない国境(壁)」は存在するののかという問いを出発点に、異文化間の距離や接点を探り、在留外国人と日本人の日常的な出会いの場を生み出す拠点（コミュニティ）の形成を目指すプロジェクトです。 【実施場所】 世田谷区 ほか

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細はアーツカウンシル東京広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

アーツカウンシル東京

〒102-0073 千代田区九段北4丁目1-28

電話 03-6256-8432(広報直通) FAX 03-6256-8828

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

アーツカウンシル東京(4)

事業名	会期	概要
タレンツ・トーキョー2020	2020年11月23日～28日	映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能(=Talents、タレンツ)」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施します。 【実施場所】有楽町朝日ホールスクエア(予定)
東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 (Art Support Tohoku-Tokyo)	通年	「東京緊急対策2011」の一環として東京都との共催で開始した、被災地域のコミュニティに対して、現地の団体と協働してアートプログラムを実施する事業です。現地のアートNPO等の団体やコーディネーターと連携し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。被災地域のコミュニティを再建するため、様々な分野の人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを行います。 【実施場所】岩手県、宮城県、福島県
Art Support Tohoku-Tokyo フォーラム	未定	東日本大震災から10年を迎え、被災地の現状や震災以降の取り組みの成果発信、現地の担い手のネットワーク形成を目的としたフォーラムを実施します。 【実施場所】未定(都内及び宮城県)

※この内容は2020年1月28日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細はアーツカウンシル東京広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

アーツカウンシル東京

〒102-0073 千代田区九段北4丁目1-28

電話 03-6256-8432(広報直通) FAX 03-6256-8828

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>